

【旭区】令和 8 年第 1 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和 8 年 2 月 6 日 (金) ※書面開催
場 所	—
出席者	—
議 題	<p>【議題】</p> <p>1 令和 8 年度 旭区個性ある区づくり推進費の予算 (案) について</p> <p>2 鶴ヶ峰連立ニュース第 12 号の発行について</p> <p>3 お悔み窓口について</p> <p>【資料提供】</p> <p>1 令和 8 年度予算編成に向けた「区提案反映制度」の項目について</p>
発 言 の 要 旨	<p>【議題】</p> <p>1 令和 8 年度 旭区個性ある区づくり推進費の予算 (案) について</p> <p>I-1 災害に強い区づくり事業</p> <p>6 災害時のペット対策啓発事業</p> <p>くしだ議員：ペット同伴避難について、医療局では 1 区 1 か所を目標にしている。まずは動物愛護センター等が同伴先になるが、理想は地域の中でペット同伴避難ができる避難所があると良い。</p> <p>くしだ議員：熱心な方がいる避難所では積極的に関わろうとしてくれている。どこまで支援するかということもあるが、旭区でもうまく進められるよう要望する。</p> <p>I-3 街の美化運動事業</p> <p>2 不法投棄防止対策</p> <p>佐藤議員：市内全域で屋外の公共の場所での喫煙禁止に向けて取組を進めていると思うが、これと並行して GREEN×EXPO 2027 に向けて喫煙エリアを設けようという話がある。旭区で適地があれば教えてほしい。</p> <p>3 あさひみらいサポーター事業</p> <p>木内議員：あさひみらいサポーター事業は公園愛護会とは別なのか。</p>

→ハマロードサポーター、公園愛護会等の組織の高齢化が背景にある。スタートアップとしてボランティアをやってみようかと関心を持っている人が活動しやすいように、また、継続してハマロードサポーターや公園愛護会等の活動への参加につながるようにと考えた。

木内議員：うまく連携取れると良い。

I-4 子どもと家庭の安心支援事業

1 児童虐待予防事業

木内議員：子育てヒントの動画の SNS 配信はプッシュ型か。

→そのとおり。

I-5 安全で安心な食と生活環境支援事業

2 飼い主のいない猫対策事業

増永議員：TNR 活動の猫の動画活用実績は。

→現在動画編集中。

増永議員：動画の活用場所は。SNS でも発信するのか。(犬の登録説明、マナー動画含む)

→猫は現場での説明時、犬は窓口来庁者の方向けに活用する。

SNS での活用は確認する。

増永議員：SNS 等でも活用した方が効果的かと思うのでぜひ検討してほしい。

くしだ議員：旭区で多頭飼崩壊の保護事例がある。ボランティアとうまく連携して活動してほしい。旭区での活動（保護のあとの譲渡会までの活動など）が評価されていると聞いているので、ボランティアの方のモチベーションの維持を図るよう工夫してほしい。

くしだ議員：譲渡会の開催にイオンなども興味を持ってきている。民間の場所でも開催はできるが、公共施設を会場として開催することで行政が関わってくれるという安心感を持ってくれる。引続き協力して行ってほしい。

3 動物適正飼育推進等啓発事業

くしだ議員：わんわんパトロールが旭区ではなかなか広がらないという声を聞いている。今回の動画の件も含めて少しでも広がっていくようにしてほしい。

くしだ議員：ペット探偵の講演会は参加したが非常によかった。こうした活動とうまく連携できれば活動が広がっていくのではないか。

Ⅱ－1 あさひのつながり応援・発信事業

1 市民活動センター（みなくる）事業

くしだ議員：みなくるでの活動実績はどうか。

→見本市は盛況だった。みなくるの来館実績も令和3年度が約13,000人、4年度が約15,000人、6年度が約16,000人と伸びてきている。これに伴って相談件数も増えてきている。

くしだ議員：相談内容は公園愛護会やハマロードサポーターのようなものではなく、団体を立ち上げたいなどの相談か。

→そのような相談もあれば、興味ある活動をしている団体探しなど様々。

→令和8年度の専門相談では、団体運営を継続していくこと等専門的な相談ができる体制にしていく。

2 あさひの魅力発信事業

増永議員：区民ライター人数が半減した理由は。

→まだ分析できていない。今年度フォローアップを実施しているが、こちらも昨年度参加した方の半分程度の参加となっているので、全員が継続してもらうのは難しいかもしれない。

増永議員：区民ライターにモチベーションを高めてもらうために、畠山重忠公関連スポットなど、旭区に来た方の回遊性を高めることを期待するなど、求めてみてはどうか。

増永議員：Xのインプレッションを目標値にするのはやめたのか。

→フォロワー数とした。フォロワーは順調に増えている。

増永議員：インスタはやらないのか。区によってはアカウントを持っている。

→完成度高いものを発信していこうとするとなかなか難しい。

増永議員：完成度高くなくても良い。やることに意義がある。若い世代はXよりもインスタを使う。区民ライターに頼めば良いのでは。公的なものなのでチェックは必要だが。

4 多様なパートナーと連携した地域課題解決推進事業

木内議員：区民意識調査はどのようにやるのか。

→前は住基データから無作為抽出で選り書類をお送りして、回答してもらった。今回も住基データで無作為抽出した区民を対象とするが、65歳未満の方には二次元コードから回答してもらうように改めた。

木内議員：まんべんなく回答をもらっているのか。

→前は高齢者の割合が比較的多かった。回答率は50%程度。データ部門とも連携して効果的に進めていきたい。

くしだ議員：旭区の空家対策の改善率は良い方だと聞いている。しかし今後増えていくと思うので対策をしていく必要がある。

くしだ議員：アプリができて、とっかかりとしては良い取組。旭区でも活用して欲しい。

→旭区としてもアプリをPRしながら取り組んでいく。

5 地域データ活用支援事業

木内議員：データ活用について既に公表しているのか。

→一部のデータは公表している。今年度はより詳細なデータを公開するために調査委託をしており、来年度は細かなエリアごとの年齢分布等のデータ公表を検討している。

II-2 自治会町内会等の地域活動支援事業

4 加入促進のPR

こがゆ議員：自治会町内会加入PRは。

→今年度からおおむね旭区の区域が入る圏内（円内）に一定時間滞在した20～50代の方向けにSNSへのPR広告を実施している。広告をタップすると区連会の自治会町内会のホームページにつながるようになっている。

こがゆ議員：広告を出したとして見てくれるか。見たとしてその先に進まない可能性がある。

こがゆ議員：自治会町内会の方が会員を勧誘する際に加入のメリット等を伝えられる共通のパンフレットを作成できないか。

→パンフレットを作成して、区への転入者全員に配付している。パンフレットの中には加入申請書も挿みこんでいる。紙媒体だけでは効果が薄いので、期待しているのは「よこむすびサイト」。地域のおまつり等身近で興味のある分野から参加してもらい、加入してもらえると良いと考えている。

こがゆ議員：自治会町内会の加入促進は今力を入れてやらないとどんどん役員の負担が増えていく。パンフレットの取組は良いと思うが、これを読んでくれるかという課題もある。引続き PR 方法を検討してほしい。

5 地域活動における ICT 活用支援

増永議員：実績はどうか。

→6年度は、3団体の利用があり、二俣川ニュータウン連合町内会、さちが丘蔵屋敷自治会等に活用してもらった。7年度は白根第九町内会、旭南部連合自治会、都岡町内会等で実績があり、LINE グループでのコミュニケーション体験等を実施している。

増永議員：7年度も実績は3団体ということか。

→ご紹介したものは代表的なもので、7年度は他にも実績がある。

増永議員：ニーズは伸びてきているということか。

→そのとおり。

増永議員：どのように事業 PR しているのか

→区連会や市民活動センター（みなくる）で情報発信している。

増永議員：潜在的なニーズはあると思うのでぜひプッシュ型で積極的に周知してほしい。

II-4 区民スポーツ事業

3 旭区大なわとび大会事業

木内議員：今年は旧若葉台西中での開催で遠かったが、来年度からはまたスポーツセンターに戻るのか。

→そのとおり。

II-5 文化芸術による心の豊かさ推進事業

3 読書活動推進事業

増永議員：POP づくり大作戦はどうだったか。

→15 名程度の参加。制作物も区内の書店等で展示してもらった。

増永議員：ビブリオバトルから変更してどうだったか。

→ビブリオバトルではリピーターの参加が多かったが、POP づくりではアートが得意な子どもの参加など、これまでと違った視

点での参加に広がった。

増永議員：ビブリオバトルもやってほしいとは言わないが、1回と言わず、回数を増やす等検討してほしい。

増永議員：旭区本と出会える場所マップはどのようなものができたのか。
→大きくは変えていないが、りんごの棚の記述や対象年齢別の整理をした。

Ⅱ－7 子育て・若者支援事業

1 妊娠期支援事業

増永議員：両親教室の枠拡充は今枠が足りていないということか。

→そのとおり。

増永議員：良い取組なので、ぜひ継続してほしい。

増永議員：妊産婦の産後ケアの申請が出産前にできるようになるので、子ども家庭支援課からの周知に力を入れてほしい。

Ⅱ－12 認知症をみんなで支えるまちづくり事業

1 啓発活動の展開

木内議員：認知症ケアパスガイドの主な対象は認知症サポーターか。

→サポーターも対象。広く知っていただくことを目的としている。

木内議員：サポーターはどの程度いて、どのような活動をしているのか。

→養成講座を受けた方の累計は約 25,000 人。特定の活動をするというより、自分のできる範囲で応援・支援してもらうものになっている。

Ⅲ－2 GREEN×EXPO 2027 参加促進事業

1 GREEN×EXPO 2027 参加促進

こがゆ議員：令和8年度内に開幕だが、それに合わせた取組は旭区としてないのか。

→区独自ではなかなか難しい。局と連携して引続き取り組んでいきたい。

こがゆ議員：旭区民に対してメリットを伸ばす、デメリットを解消する区としての取組はあるのか。

→区としては令和8年度の大半は旭区にも来てもらうための魅力 PR に力を入れていく。開幕にあわせた取組等は令和9年度

の対応になると思う。

こがゆ議員：旭区民はどのように行くのか。

→旭区内にはシャトルバスの発着場がない状況。18区からの輸送手段については、局としても検討中。

こがゆ議員：道路がすごく混むと思うので、区民生活に影響がでないか気にしておいた方がよい。

増永議員：トゥンクトゥンクのモニュメントは区予算で購入か。

→そのとおり。

増永議員：展示場所は運転免許センターに常設か。

→移動が大変なこともあり常設。

増永議員：100日前イベントはどこでやるのか。

→二俣川駅前を中心に検討している。1年前イベントも改札前で実施する。

増永議員：3月14日の1年前イベントはひなたぼっこイベントと重なっている。ひなたぼっこイベント会場でも「1年前イベントやりますよ」と宣伝してもらえれば。

→承知した。

くしだ議員：GREEN×EXPO 2027のグッズは旭区では販売できないのか。

→一度事業者が仕入れた上で販売しないと聞いている。販売しても良いという方がいれば協会に紹介することはできる。

くしだ議員：町田市民の方から、町田も隣接しているのもっと広報してほしいとのメールをもらった。こうした視点も含めてPRしてほしい。

くしだ議員：いろいろなアクセスも含めて考えたときに、やはり幅広くPRしてほしい。

→旭区からのアクセスも含めて脱炭素・GREEN×EXPO推進局とGREEN×EXPO協会に伝えていく。

大岩議員：参加促進のために地域でいろいろな取組を行う余地があると思っていたが、区役所ではその余地はないということか。

→区として計画を立ててやっていくことになる。

大岩議員：GREEN×EXPO 2027の取組に関係する人を呼んで話してもらうなどのイベントを考えているが、区と連携できないか。

→広報などで連携できる。

大岩議員：GREEN×EXPO 2027に関係するイベントに後援名義の使用はでき

るのか。

→旭区と横浜国際園芸博覧会旭区推進協議会の両方で申請していただける。脱炭素・GREEN×EXPO 推進局の名義使用は横浜市全域を対象としたものになると思うので取りづらいかもしい。

大岩議員：GREEN×EXPO 2027 を盛り上げるためにもっと色々取り組んでもらいたい。

→区役所、民間企業、地域など様々なところで取組を行っていただければと思っている。ASAHI GREEN×EXPO 2027 応援プログラムというものがあり、普及啓発グッズの貸出を行っている。具体的にはチラシやポスターの提供や、のぼり旗やテーブルクロスをお貸ししてイベントで PR していただくことができる。シールやサンバイザー等のちょっとした配りものの提供も可能。

大岩議員：横浜市の GREEN×EXPO 2027 の認知度は高いが、「何をやるのか」を把握している人はほとんどいない。1年前イベントでは市民の人に参加してもらい、GREEN×EXPO 2027 について調べるようなイベントをやったら良いのではないか。

大岩議員：GREEN×EXPO 協会にも地域のイベント等を手伝ってもらえるのか。

→役割分担として、協会は全国や世界への PR となるので難しいと思う。

佐藤議員：オープンガーデンはだいぶ会場数が増えた。

→地域の方が自ら広げてくれた。今回は区役所もエントリーする。区役所にいただいた寄付を活用し、エコガーデンを再整備しオープンガーデンとして参加することにした。ぜひ多くの方に見ていただきたい。

IV-1 区役所満足度向上事業

6 行政対象暴力弁護士委任事業

くしだ議員：委任とは裁判を行うということか。

→ここまで裁判に至った事例はない。区役所の窓口で行政対象暴力があった際に被害を受けた職員が警察の事情聴取の際等のサポートも想定している。

佐藤議員：警察は対応してくれているのか。

→旭警察署とは日ごろから連携して取り組んでいる。警察とも

	<p>つながりの深い元検察出身の弁護士と連携して進めている。今年度から始めたが新規事業として予算を組んだ。旭区で始めたが、どこの区役所でも起こりうるので他区でも同様のことが適用できるように局に提案している。</p> <p><u>2 鶴ヶ峰連立ニュース第12号の発行について</u> <質疑なし></p> <p><u>3 お悔み窓口について</u> 大岩議員：システムのうまくいかない事などないのか。 →今のところ予約も入っていて順調。</p> <p><u>4 その他</u> こがゆ議員：水道局の川井接合井から西谷浄水場までの導水路工事（トンネル工事）についても進捗報告をいただきたい。</p>
備 考	議事録作成については座長の一任とする